管工事仕様書　新旧対照表（令和５年１２月）

改　訂　前

１・１　総則

４・３・２　埋戻し

4.　埋戻し土砂の転圧は、管体上 20 ㎝までは管廻りに空隙ができぬよう丁寧に、かつ十分に人力で締固め、構造物に偏圧を与えないように注意して施工しなければならない。なお、給水管(ポリエチレン管等)の転圧に当たっては、タンパー等により、管体に損傷を与えないように注意して施工しなければならない。

４・６　弁　　室　　工

1.　構造、施工等については共通仕様書　第１編　共通編　第５章　無筋、鉄筋コンクリートの規定による。

2.　弁室鉄蓋（φ700・1200・1500 レジンコンクリート製アダプター）は、『施工手順書（平成 12 年)』に従い施工しなければならない。また施工経験がない者は、販売代理店の技術者等の立会いのうえ、施工するものとする。(標準図参照)

５・１・３　配水用ポリエチレン管布設工

6.　フランジアダプターのフランジ部に、フランジ固定金具を設置する場合は、鋳鉄製のフランジアダプターを使用すること。

６・１・１４　フランジ接合

5.　ガスケット溝にＧＦ形ガスケット１号を装着する。この時、接着剤は用いなくてもよいが、溝からはずれやすい場合は、シアノアクリレート系接着剤（アロンアルファ）等を、呼び径によって４～６等分点に点付けする。

注：次の接着剤はガスケットに悪影響を及ぼすので使用してはならない。

酸化ビニル系接着剤（セメダインなど）、合成ゴム系接着剤（ボンドなど）

７・１・９　配　　合

⑴　滑　材　配　合

１㎥当たり

名称＼種目	形状寸法	単位	数量
スベール		ℓ	50

改　訂　後

１・１　総則

１・１・４　諸法令の遵守

1. 個人情報の取扱い

札幌市水道局が貸与する資料に記載された個人情報及び業務に関して知りえた個人情報は全て札幌市水道局の個人情報であり、札幌市水道局の許可なく複写、複製又は第三者へ提供してはならない。

４・３・２　埋戻し

4.　傾斜地において埋戻す場合は、斜面下側から埋戻し及び締固めを入念に行い、斜面下方向への土砂の滑動を防止し、沈下が生じないよう施工しなければならない。

5.　埋戻し土砂の転圧は、管体上 20 ㎝までは管廻りに空隙ができぬよう丁寧に、かつ十分に人力で締固め、構造物に偏圧を与えないように注意して施工しなければならない。なお、給水管（ポリエチレン管等）の転圧に当たっては、ダンパー等により、管体に損傷を与えないように注意して施工しなければならない。

6.　水道管を含む他埋設物と交差する箇所や輻輳する箇所の埋戻しは、管廻り（特に下端部）に空隙が生じないよう埋戻し及び締固めを入念に行い、沈下を防止するとともに、埋設物同士が接触したり干渉することがないよう施工しなければならない。

４・６　弁　　室　　工

1.　構造、施工等については共通仕様書　第１編　共通編　第５章　無筋、鉄筋コンクリートの規定による。

2.　弁室鉄蓋（φ700・1200・1500）は設置の際、専用接着剤を使用しレジンコンクリート製アダプターとコンクリート管接合面に隙間がないように圧着すること。また施工経験がない者は、販売代理店の技術者等の立会いのうえ、施工するものとする。(標準図参照)

５・１・３　配水用ポリエチレン管布設工

（削除）

6.　掘削溝底に 0.1m以上の砂又は良質土を用いて床仕上げ（埋戻し）を行うこと。

６・１・１４　フランジ接合

5.　ガスケット溝にＧＦ形ガスケット１号を装着する。この時、接着剤は用いなくてもよいが、溝からはずれやすい場合は、シアノアクリレート系接着剤を、呼び径によって４～６等分点に点付けする。

注：次の接着剤はガスケットに悪影響を及ぼすので使用してはならない。

酸化ビニル系接着剤、合成ゴム系接着剤

７・１・９　配　　合

1.　滑　材　配　合

１㎥当たり

名称＼種目	形状寸法	単位	数量
減摩剤		ℓ	50

備　　考

P3
文言追加

P22
文言追加及び修正

P24
文言修正

P28
文言削除及び追加

P61
文言削除

P79
文言修正

改訂前

8・2・1 寸　法

［主たる口径がφ350 以下の工事に適用］　表－２

工　種	測定項目	規格値	測定基準	測定基準結果表および出来形図	摘　要
配水管布設工	延長	L≦500m　±3%以内	全延長を測定	設計図に出来形を朱書する	
		500m＜L≦750m　±15m以内			
		750m＜L≦1,000m　±2%以内			
		1,000m＜L≦2,000m　±20m以内			
		2,000m＜L　±1%以内			
	土かぶり	国道　H＝1200　－50 ㎜以内	40mに一箇所測定		
		上記以外　H＝1100　－50 ㎜以内			
給水管布設工	延長	L≦50m　±10%以内	全延長を測定	－〃－	
		50m＜L≦100m　± 9%以内			
		100m＜L≦200m　± 8%以内			
		200m＜L　± 7%以内			
	土かぶり	国道　H＝1200 市道　H＝1100 宅地　H＝1000　－50 ㎜以内	継替１０箇所に１箇所測定		
推進工 （小口径推進工含む）	基準高	±50 ㎜以内	中心線測量、水準測量は推進管一本毎に測定	一推進区間毎に推進区間全線とする。	
	中心線偏位	左・右 50 ㎜以内			
	延長	-200≦ΣL”≦500 ㎜以内			
弁室等（現場打ち）	厚さ	－20 ㎜以内	施工単位毎に測定	設計図に出来形を朱書する。	（道路編・道路改良）５編１章６節８条　場所打函渠工
	幅（内法）	－30 ㎜以内			
	高さ	±30 ㎜以内			
管防護コンクリート	幅	－30 ㎜以内	－〃－	－〃－	（道路編・道路改良）５編１章 10 節４条　大型標識工
	高さ	－30 ㎜以内			
	長さ	－30 ㎜以内			

改訂後

8・2・1 寸　法

［主たる口径がφ350 以下の工事に適用］　表－２

工　種	測定項目	規格値	測定基準	測定基準結果表および出来形図	摘　要
配水管布設工	延長	L≦500m　±3%以内	全延長を測定	設計図に出来形を朱書する	
		500m＜L≦750m　±15m以内			
		750m＜L≦1,000m　±2%以内			
		1,000m＜L≦2,000m　±20m以内			
		2,000m＜L　±1%以内			
	土かぶり	国道　H＝1200　－50 ㎜以内	40mに一箇所測定		
		上記以外　H＝1100　－50 ㎜以内			
給水管布設工	延長	L≦50m　±10%以内	全延長を測定	－〃－	
		50m＜L≦100m　± 9%以内			
		100m＜L≦200m　± 8%以内			
		200m＜L　± 7%以内			
	土かぶり	国道　H＝1200 市道　H＝1100 宅地　H＝1000　－50 ㎜以内	継替１０箇所に１箇所測定		
配水用ポリエチレン管布設工（床仕上げ）	厚さ	設計値以上	40mに一箇所測定 （切替部は 10 箇所に１箇所測定）		
推進工 （小口径推進工含む）	基準高	±50 ㎜以内	中心線測量、水準測量は推進管一本毎に測定	一推進区間毎に推進区間全線とする。	
	中心線偏位	左・右 50 ㎜以内			
	延長	-200≦ΣL”≦500 ㎜以内			
弁室等（現場打ち）	厚さ	－20 ㎜以内	施工単位毎に測定	設計図に出来形を朱書する。	（道路編・道路改良）５編１章６節８条　場所打函渠工
	幅（内法）	－30 ㎜以内			
	高さ	±30 ㎜以内			
管防護コンクリート	幅	－30 ㎜以内	－〃－	－〃－	（道路編・道路改良）５編１章 10 節４条　大型標識工
	高さ	－30 ㎜以内			
	長さ	－30 ㎜以内			
下層路盤	厚さ	－45 ㎜以内	80mに１箇所測定		
	幅	－50 ㎜以内			

備考

P90
文言追加

改　訂　前

８・２・２　出来形図及びしゅん功図

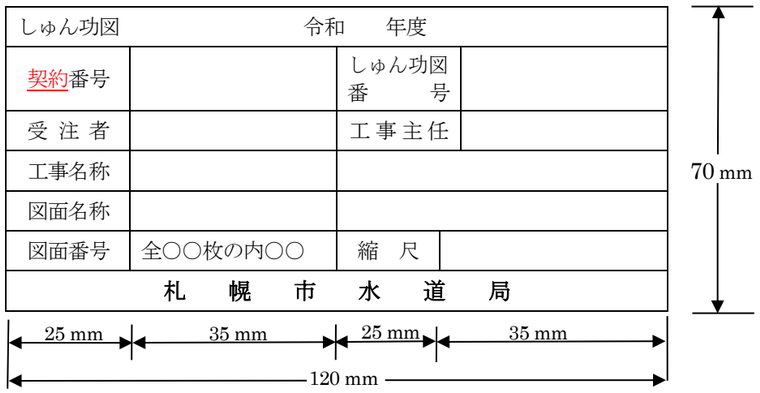
3.　配水支管（準幹線・枝線）しゅん功図作成要領

⑴　しゅん功図の規格

④　しゅん功図の右下隅部には、縦 7cm、横 12cm の図面名称欄を設け、施工年度、受注者名、工事主任名、契約番号、しゅん功図番号（例－北－11）、工事名称、図面名称、図面番号、縮尺及び札幌市水道局等を記入する。

図　面　名　称　欄

しゅん功図　　令和　　年度			
契約番号		しゅん功図番　号	
受 注 者		工 事 主 任	
工事名称			
図面名称			
図面番号	全○○枚の内○○	縮　尺	
札　幌　市　水　道　局			



改　訂　後

８・２・２　出来形図及びしゅん功図

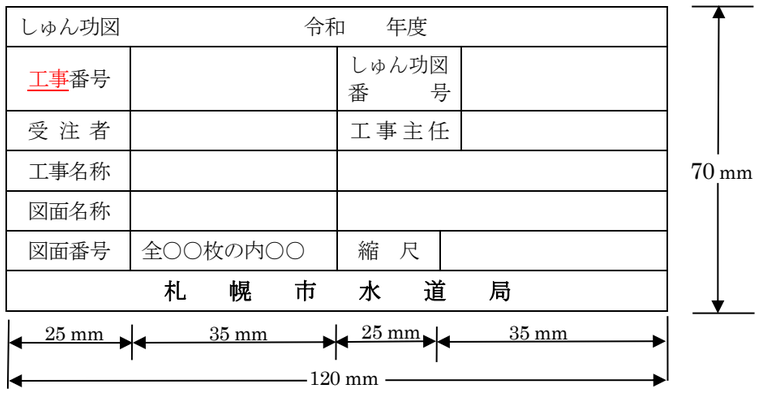
3.　配水支管（準幹線・枝線）しゅん功図作成要領

⑴　しゅん功図の規格

④　しゅん功図の右下隅部には、縦 7cm、横 12cm の図面名称欄を設け、施工年度（しゅん功年度）、受注者名、工事主任名、工事番号、しゅん功図番号（例－北－11）、工事名称、図面名称、図面番号、縮尺及び札幌市水道局等を記入する。

図　面　名　称　欄

しゅん功図　　令和　　年度			
工事番号		しゅん功図番　号	
受 注 者		工 事 主 任	
工事名称			
図面名称			
図面番号	全○○枚の内○○	縮　尺	
札　幌　市　水　道　局			



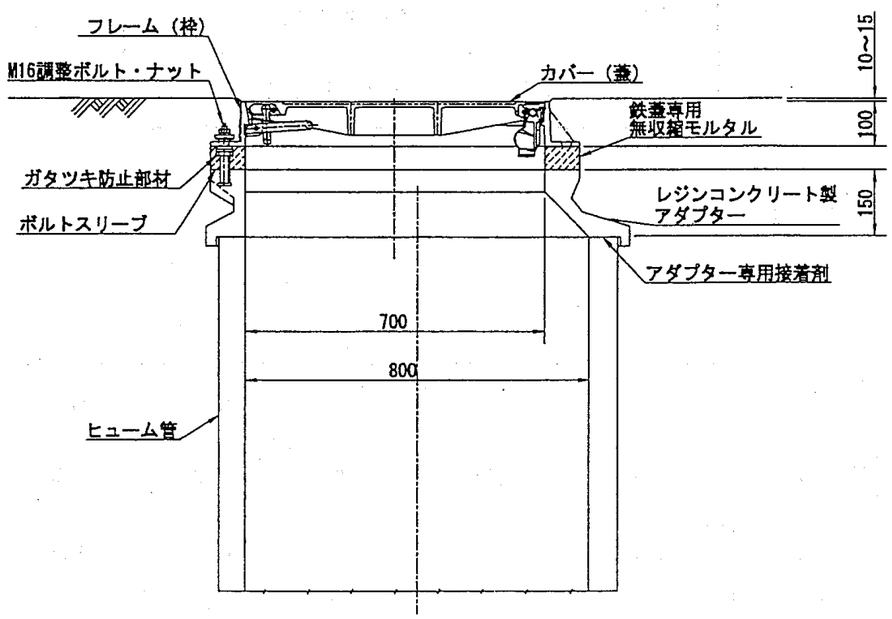
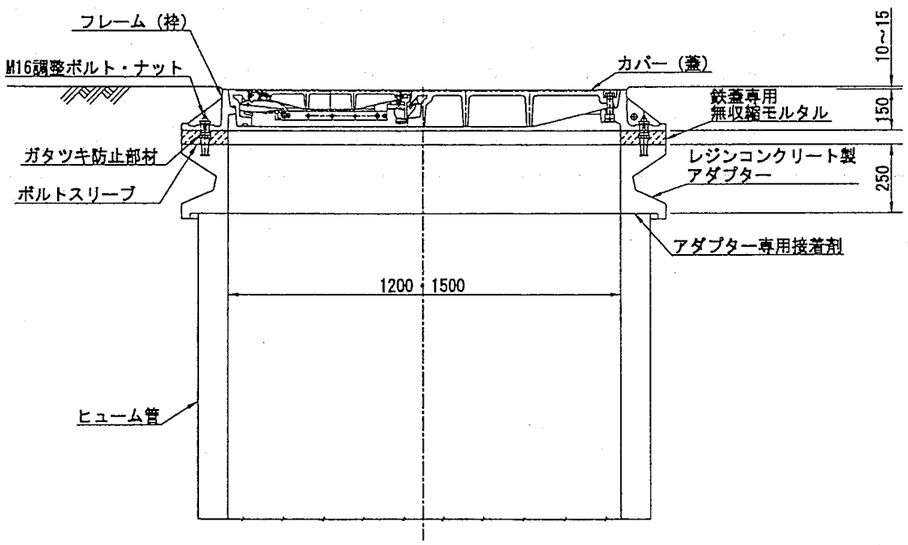
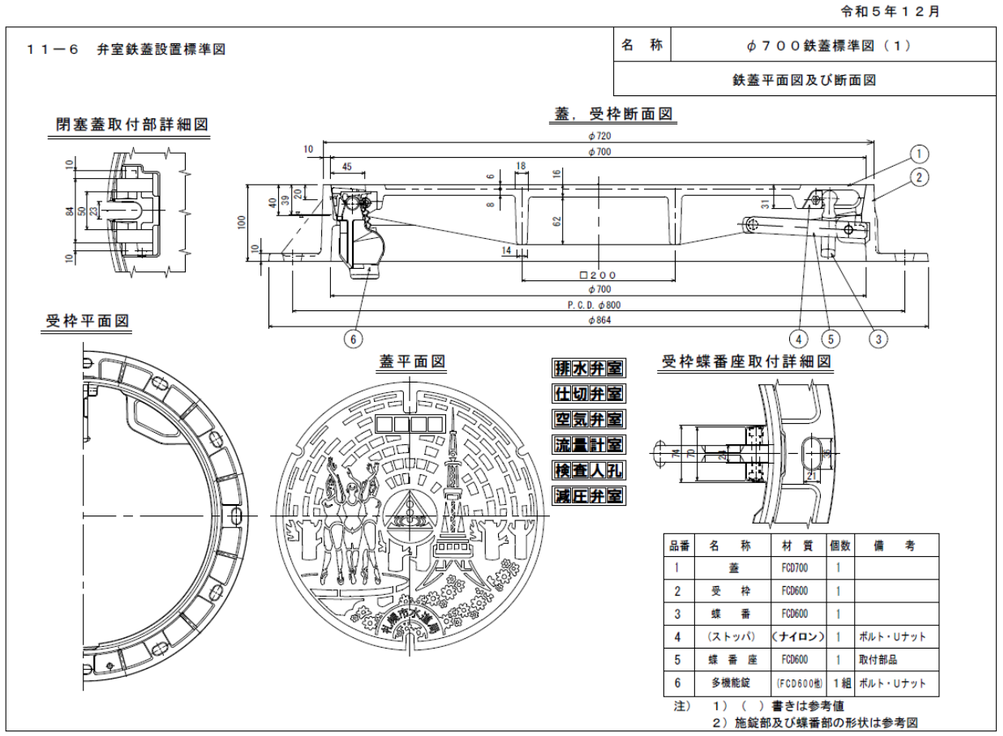
しゅん功図（参考図）　幹線、枝線 全面修正

備　考

P94

文言修正及び追加

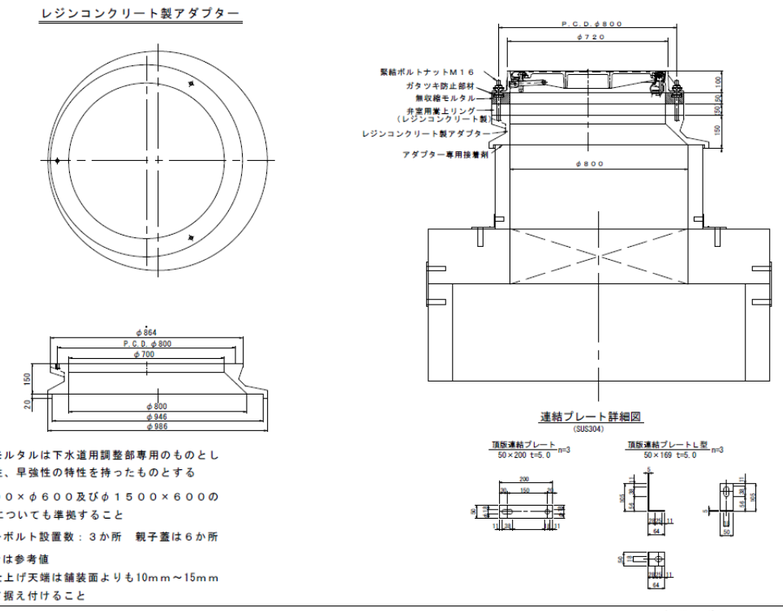
P100～

改　訂　前	改　訂　後	備　　考
１１・６　弁室鉄蓋設置標準図 φ700 鉄蓋・アダプター  φ1200・φ1500 鉄蓋・アダプター  	１１・６　弁室鉄蓋設置標準図 全面修正 11-6-1 から 11-6-6 追加  令和５年１２月 １１－６　弁室鉄蓋設置標準図 名　称　φ７００鉄蓋標準図（１） 鉄蓋平面図及び断面図 品番 名称 材質 個数 備考 1 蓋 FCD700 1 2 受枠 FCD600 1 3 蝶番 FCD600 1 4 (ストッパ) (ナイロン) 1 ボルト・Uナット 5 蝶番座 FCD600 1 取付部品 6 多機能錠 (FCD600他) 1組 ボルト・Uナット 注）１）（　）書きは参考値 ２）施錠部及び蝶番部の形状は参考図 札幌市水道局　１１－６－１	P204 全面修正

改　訂　前	改　訂　後	備　　考

令和５年１２月

名　称	φ７００鉄蓋標準図（２）
鉄蓋設置図（１）	

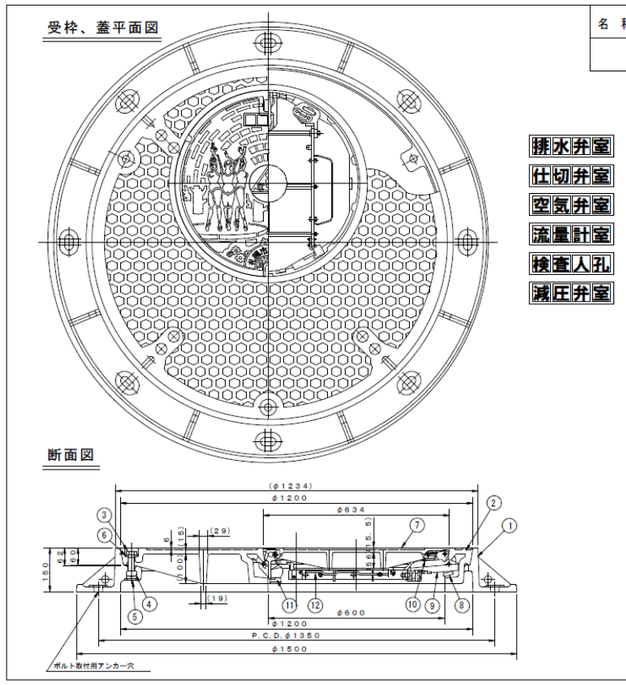


１）無収縮モルタルは下水道用調整部専用のものとし
　　高流動性、早強性の特性を持ったものとする
２）φ１２００×φ６００及びφ１５００×６００の
　　親子蓋についても準拠すること
３）アンカーボルト設置数：３か所　親子蓋は６か所
４）（　）書きは参考値
５）鉄蓋の仕上げ天端は舗装面よりも10mm～15mm
　　低くして据え付けること

札幌市水道局　１１－６－２

令和５年１２月

名　称	φ１２００×φ６００鉄蓋標準図
鉄蓋平面図及び断面図	



排水弁室
仕切弁室
空気弁室
流量計室
検査人孔
減圧弁室

小蓋平面図

	名　称	材　質	個数	備　考
1	枠	FCD600	1	
2	親蓋	FCD700	1	
3	六角ボルト	(SUS304)	3	
4	四角ナット	(SUS304)	3	
5	押え板	(SUS304)	3	
6	皿バネ座金	(SUS304)	3	
7	子蓋	FCD700	1	
8	蝶番	FCD600	1	
9	受座	FCD600	1	取付部品
10	（ストッパ）	（ナイロン）	1	ボルト・Uナット
11	多機能錠	(FCD600)	1	ボルト・Uナット
12	格子蓋	(SUS304)	1式	

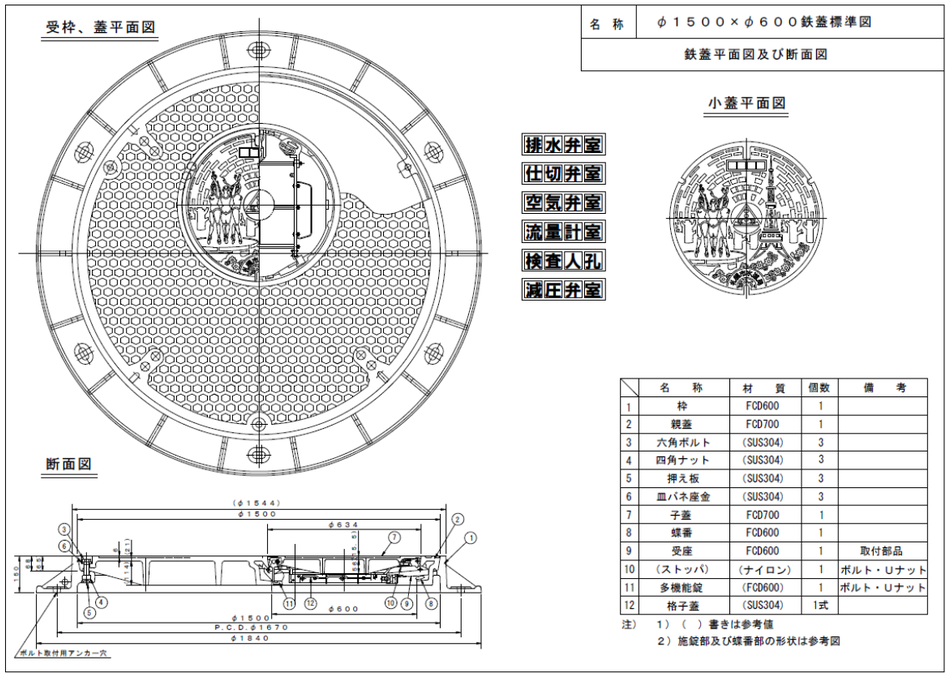
注）１）（　）書きは参考値
　　２）施錠部及び蝶番部の形状は参考図

札幌市水道局　１１－６－３

改　訂　前	改　訂　後	備　　考

令和５年１２月

名　称	φ１５００×φ６００鉄蓋標準図
鉄蓋平面図及び断面図	



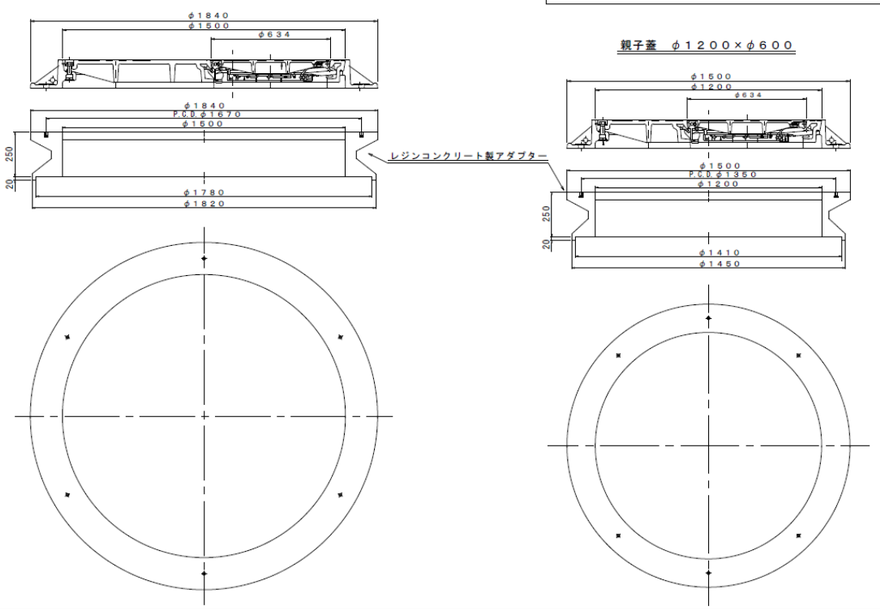
	名　称	材　質	個数	備　考
1	枠	FCD600	1	
2	親蓋	FCD700	1	
3	六角ボルト	(SUS304)	3	
4	四角ナット	(SUS304)	3	
5	押え板	(SUS304)	3	
6	皿バネ座金	(SUS304)	3	
7	子蓋	FCD700	1	
8	蝶番	FCD600	1	
9	受座	FCD600	1	取付部品
10	(ストッパ)	(ナイロン)	1	ボルト・Uナット
11	多機能錠	(FCD600)	1	ボルト・Uナット
12	格子蓋	(SUS304)	1式	

注）１）（　）書きは参考値
　　２）施錠部及び蝶番部の形状は参考図

札幌市水道局　１１－６－４

令和５年１２月

名　称	弁室鉄蓋標準図（親子蓋）
鉄蓋設置図（２）	



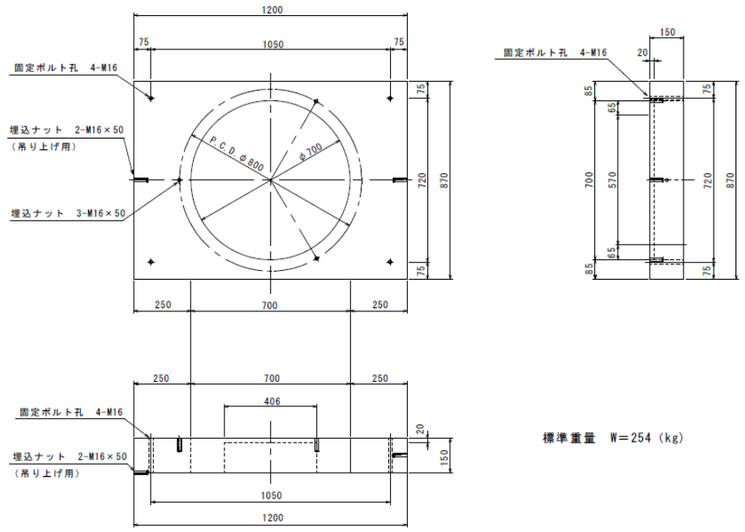
札幌市水道局　１１－６－５

改　訂　前	改　訂　後	備　　考

令和５年１２月

名　称	鉄蓋標準図（３）
弁室口嵩上げブロック	

弁室口嵩上げブロック
（セメントコンクリート製）



標準重量　W＝254（kg）

札幌市水道局　１１－６－６